

道徳の全体計画

○ 学校教育の重点目標

○ 互いに尊重し合う子ども	○ 意欲的に学ぶ子ども
・思いやりと助け合い・自らを高める	・「確かな学力」の向上・学び合う姿

○ 道徳の重点目標

互いに認め合い、高め合う子どもの育成

低学年	中学年	高学年
○気持ちのよい挨拶，言葉遣い，動作などに心掛けて，明るく接する。2－(1)	○礼儀の大切さを知り，誰に対しても真心をもって接する。2－(1)	○時と場をわきまえて，礼儀正しく真心をもって接する。2－(1)
○友達と仲良くし，助け合う。2－(3)	○友だちと互いに理解し，信頼し，助け合う。2－(3)	○互いに信頼し，学び合って友情を深め，男女仲良く協力し，助け合う。2－(3)

○ 重点的取組事項

- ・心を見つめる“心耕”：児童会の縦割り班活動で，よい姿を認め合う。
豊かな関わりを育む体験活動カードの活用と振り返り
(運動会，ふた葉遠足，文化祭，ふた葉祭り，ありがとう集会，清掃など)
- ・信頼の基盤“思いやる心”：定期的に SST を実施する。

【 人権，同和の授業を実施 ハッピーハート集会 (いじめ見逃し 0 スクール集会) 】

○ 具体的方策

「道徳」の時間	特別活動	各教科	家庭・地域等との連携	その他
<p>◎児童が，ねらいとする道徳的価値を自分の課題として受け止め，豊かに感じ，いきいきと表現してよりよく生きようとする意欲をはぐくむような時間を目指す。</p> <p>資料の選択・活用の吟味 ・児童の心の問題に迫り，感性を磨く資料を活用する。</p> <p>差別・軽蔑を許さない心の育成 ・生きるⅠⅡⅢの活用(学期に1題材以上)</p> <p>・各種人権問題に関わる題材を取り上げ，人権感覚を磨く。</p> <p>・SSTを取り入れた授業</p>	<p>◎自分のよさを育てながら，集団の一員としての自覚を深め，協力してよりよい生活を築こうとする態度を養う。</p> <p>学級活動 ・率直に言い合える友達関係 ・学級スローガンの合意遵守 ・努力を競い，称え合う仲間 ・自分のよさを育てる活動 ・QUの活用</p> <p>児童会活動 ・互いに協力し合い仲間意識を高め，ありがとうを伝え合う活動を展開する。「思いやりメッセージ」など</p>	<p>◎聞き合う，話し合う力を育成する。 ・意欲を喚起する課題を設定する</p> <p>・一人一人の考えを生かす授業を工夫する。</p> <p>・一人一人の意見を認め合う雰囲気を作る。</p> <p>・思いやりの心を基盤にした授業展開を工夫する。</p>	<p>◎地域学習を通して地域社会における好ましい人間関係を構築する。</p> <p>・授業参観での道徳授業の公開を通して，家庭との連携を図る。</p> <p>・地域での体験活動を効果的に展開する。</p> <p>・たよりで児童の様子を知らせる。学校だより 学年だより 保健室だより等</p>	<p>◎一人一人の指導の重点を設定し児童理解に努める。</p> <p>・自分の力を伸ばしチャレンジ精神を培う</p> <p>・職員間での児童の情報交換を密にする。</p> <p>・全校道徳の実施(生命尊重)6月</p>

○ 教育活動全体を通じた「私たちの道徳」の活用 ○ 全校共通の家庭持ち帰り日の設定